

4. 植生・植物相調査

4-1 植生調査

朝明川河口部の群落区分を表 2-4-1、現存植生図を図 2-4-1 に示す。また、組成表を資料 5-1～5-2 に示す。

朝明川河口部では、広範囲に海岸植物群落等が発達していた。

海岸植物群落の分布は多様で、最も波打ち際にハマヒルガオーコマツヨイグサ群落が発生し、その背後にコウボウシバ群落、コウボウムギ群落が帯状に分布する傾向がみられた。また、砂丘がやや盛り上がった内陸寄りには、ケカモノハシ群落、ナガミノオニシバ群落（重要種）、チガヤ・ヤマアワ群落が発見分布し、砂の移動が少ない安定した立地には、ハマゴウ群落、センダン等中低木林といった木本群落が発生していた。

調査地域の中央から東寄りにかけては、土壌が砂質中心でない盛土地があり、そこには、ニセアカシヤ高木林やススキーセイタカアワダチソウ群落がまとまって発生していた。なお、堤防から海岸砂丘に降りる階段付近には優占種が異なるメヒシバ-メマツヨイグサ群落、朝明川の河口の 1 箇所にはヨシ群落がみられた。

表 2-4-1 朝明川河口部の群落区分

No.	概観	種名	備考
1	海岸砂丘・低茎草地	ハマヒルガオーコマツヨイグサ群落	海岸植物群落
2		コウボウシバ群落	海岸植物群落
3		コウボウムギ群落	海岸植物群落
4		ナガミノオニシバ群落	海岸植物群落
5		ケカモノハシ群落	海岸植物群落
6		チガヤ・ヤマアワ群落	海岸植物群落
7	荒地雑草地	ススキーセイタカアワダチソウ群落	
8		メヒシバ-メマツヨイグサ群落	
9	海岸砂丘・矮性低木林	ハマゴウ群落	海岸植物群落
10	海岸性低木林	センダン等中低木林	海岸植物群落
11	外来種高木林	ニセアカシヤ高木林	
12	湿性草地	ヨシ群落	



発達する海岸植物群落



盛土地のニセアカシヤ高木林等

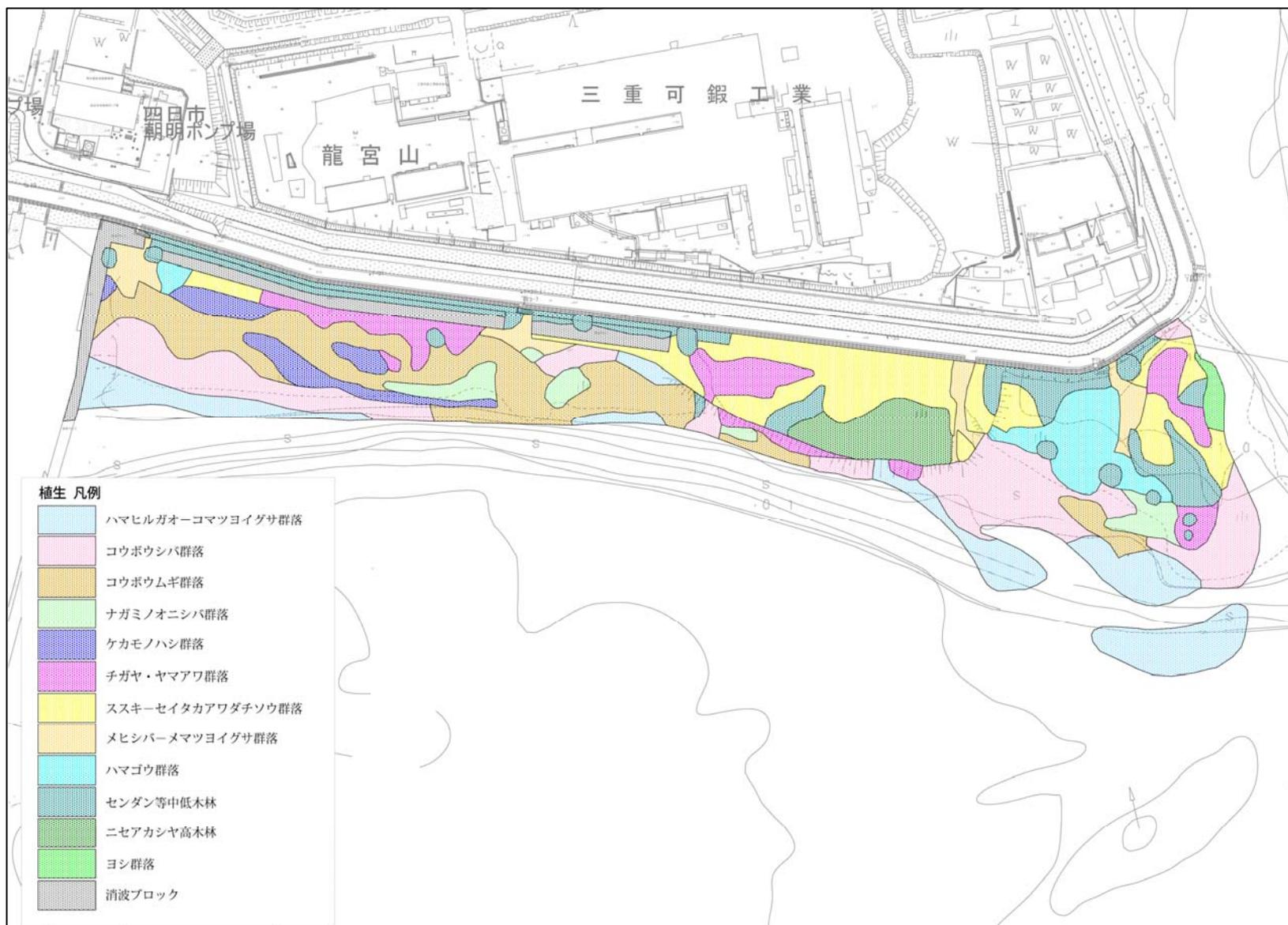


図 2-4-1 現存植生図

4-2 植物相調査

確認された植物種の一覧を表 2-4-2 に示す。

春季、夏季、秋季の調査により、50 科 153 種の植物が確認された。

調査場所は海岸砂丘と盛土地からなり、日当たりや風当たりが良く、概ね土湿は乾燥している。このような環境を反映して、確認された種は草本類が中心で木本類は少なく、シダ類は確認されなかった。

広くみられた種は、草本類では、海岸砂丘の代表種であるハマヒルガオ、コウボウムギ及びコウボウシバや、ネズミムギ、ノイバラ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ及びチガヤ等があげられる。木本類では、ニセアカシヤ、センダン及びシャリンバイ等があげられる。

なお、海岸西側の海浜草地では、9 月上旬に刈草焼却に伴う火災が発生した。秋季調査時には、植生がほとんどなく根元部のみ残った区域や葉・茎が熱により乾燥した区域等、ダメージの残る区域が見られたが、新芽の伸出等、植生が回復する兆候が確認された。

表 2-4-2(1) 確認種リスト

No.	科名	種名	春季	夏季	秋季	貴重種等
1	マツ	クロマツ	○	○	○	
2	ニレ	ムクノキ	○	○	○	
3		エノキ	○	○	○	
4	クワ	クワ		○		
5	タデ	オオイヌタデ	○	○	○	
6		イタドリ	○	○	○	
7		スイバ	○			
8		アレチギシギシ	○			
9		ギシギシ	○	○	○	
10	オシロイバナ	オシロイバナ	○	○	○	
11	ハマミズナ	ツルナ	○	○		
12	ナデシコ	ノミノツヅリ	○			
13		オランダミミナグサ	○			
14		ツメクサ	○			
15		ホザキマンテマ	○			
16	アカザ	シロザ	○	○	○	
17		アカザ	○	○	○	
18		ケアリタソウ	○	○	○	
19	ヒユ	ツルノゲイトウ		○		
20	クスノキ	クスノキ	○	○	○	
21	キンボウゲ	センニンソウ	○	○	○	
22	メギ	ナンテン	○	○	○	
23	ツヅラフジ	アオツヅラフジ	○	○	○	
24	ケシ	ナガミヒナゲシ	○			
25	アブラナ	マメグンバイナズナ	○	○	○	
26		ハマダイコン	○			
27	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	○			
28		メノマンネングサ		○		
29		オノマンネングサ		○		
30	トベラ	トベラ	○	○	○	
31	バラ	シャリンバイ	○	○	○	
32		ノイバラ	○	○	○	
33		テリハノイバラ	○	○	○	
34	マメ	クサネム		○	○	
35		イタチハギ	○	○		

表 2-4-2(2) 確認種リスト

No.	科名	種名	春季	夏季	秋季	貴重種等
36	マメ	アレチヌスビトハギ	○	○	○	
37		マルバヤハズソウ			○	
38		ハマエンドウ	○			
39		メドハギ	○	○	○	
40		ニセアカシヤ	○	○	○	
41		コメツブツメクサ	○	○		
42		シロツメクサ	○			
43		スズメノエンドウ	○			
44		カラスノエンドウ	○			
45		カタバミ	カタバミ			○
46	ムラサキカタバミ		○			
47	オッタチカタバミ		○	○	○	
48	フウロソウ	アメリカフウロ	○			
49	トウダイグサ	エノキグサ		○	○	
50		コニシキソウ		○	○	
51		アカメガシワ	○	○	○	
52		ナンキンハゼ	○	○		
53	センダン	センダン	○	○	○	
54	ウルシ	ヌルデ	○	○	○	
55	ニシキギ	マサキ	○	○	○	
56	ブドウ	ノブドウ	○	○	○	
57		キレバノブドウ	○	○	○	
58		ヤブガラシ	○	○	○	
59		エビヅル	○	○	○	
60	アオイ	ムクゲ	○	○		
61	グミ	ツルグミ	○	○	○	
62	ウリ	アマチャヅル	○	○	○	
63		スズメウリ		○	○	
64		アレチウリ	○			特定外来生物
65	アカバナ	メマツヨイグサ	○	○	○	
66		コマツヨイグサ	○	○	○	
67	セリ	ハマボウフウ	○	○	○	絶滅危惧種C(近畿)
68	カキノキ	カキノキ	○	○		
69	モクセイ	ネズミモチ			○	
70		トウネズミモチ		○	○	
71		オオバイボタ	○	○	○	
72	キョウチクトウ	キョウチクトウ	○	○	○	
73	アカネ	オオフタバムグラ		○	○	
74		メリケンムグラ		○		
75		ヘクソカズラ	○	○	○	
76	ヒルガオ	ハマヒルガオ	○	○	○	
77		アメリカネナシカズラ		○	○	
78	クマツヅラ	アレチハナガサ		○	○	
79		ハマゴウ	○	○	○	
80	ナス	クコ			○	
81		イヌホオズキ		○	○	
82	ゴマノハグサ	マツバウンラン	○			
83		ムシクサ	○			
84	オオバコ	ヘラオオバコ	○	○	○	
85	キク	ブタクサ	○	○	○	
86		ヨモギ	○	○	○	
87		キダチコンギク		○		
88		ヒロハホウキギク		○		
89		コセンダングサ		○	○	
90		オオアレチノギク	○	○	○	

表 2-4-2(3) 確認種リスト

No.	科名	種名	春季	夏季	秋季	貴重種等
91	キク	ヒメムカシヨモギ		○	○	
92		チチコグサモドキ	○			
93		アキノノゲシ	○	○	○	
94		セイタカアワダチソウ	○	○	○	
95		ノゲシ	○			
96		ヒメジョオン	○	○		
97		オオオナモミ			○	
98	ユリ	ノビル			○	
99		ノカンゾウ	○	○		準絶滅危惧(三重県)
100		オニユリ	○	○		
101		テッポウユリ		○	○	
102		ヤブラン		○	○	
103		ジャノヒゲ	○	○	○	
104	リュウゼツラン	アツバキミガヨラン			○	
105	ヒガンバナ	ハマオモト	○	○	○	準絶滅危惧(三重県)・絶滅危惧種B(近畿)
106		ヒガンバナ			○	
107	ヤマノイモ	ヤマノイモ			○	
108		オニドコロ	○	○		
109	アヤメ	ニワゼキショウ	○			
110	イグサ	クサイ	○	○	○	
111	ツユクサ	ツユクサ	○	○	○	
112	イネ	アオカモジグサ	○			
113		カモジグサ	○			
114		コヌカグサ	○			
115		ヌカボ	○			
116		ハナヌカススキ	○			
117		メリケンカルカヤ	○	○	○	
118		コバンソウ	○			
119		ヒメコバンソウ	○			
120		イヌムギ	○	○	○	
121		スズメノチャヒキ	○	○		
122		ヤマアワ	○	○	○	
123		ジュズダマ		○	○	
124		ギョウギシバ	○	○	○	
125		メヒシバ		○	○	
126		シナダレスズメガヤ	○	○	○	
127		コスズメガヤ		○	○	
128		ヒロハノウシノケグサ	○	○	○	
129		チガヤ	○	○	○	
130		ケカモノハシ	○	○	○	
131		ネズミムギ	○			
132		ホソムギ	○			
133		オギ		○	○	
134		ススキ	○	○	○	
135		シマスズメノヒエ		○	○	
136		ヨシ	○	○	○	
137		ツルヨシ		○	○	
138		ネザサ	○	○	○	
139	スズメノカタビラ	○				
140	アキノエノコログサ		○	○		
141	キンエノコロ		○	○		
142	ハマエノコロ		○	○		
143	セイバンモロコシ		○	○		
144	ネズミノオ		○	○		
145	カニツリグサ		○			

表 2-4-2(4) 確認種リスト

No.	科名	種名	春季	夏季	秋季	貴重種等
146	イネ	シバ	○	○	○	
147		ナガミノオニシバ	○	○	○	準絶滅危惧(三重県)・絶滅危惧種A(近畿)
148	カヤツリグサ	アオスゲ	○			
149		コウボウムギ	○	○	○	
150		コウボウシバ	○	○	○	
151		ヒメクグ		○		
152		メリケンガヤツリ		○		
153		ハマスゲ		○	○	
50科 153種			109種	112種	100種	5種

4-3 重要種等の生育状況

(1) 重要な種

重要な種の確認位置図を図 2-4-2 に示す。

重要種は、三重県レッドデータブックの準絶滅危惧 (NT) に該当するノカンゾウ、ハマオモト、ナガミノオニシバの 3 種が確認された。また、レッドデータブック近畿 2001 に該当する種として、ハマボウフウ (絶滅危惧種 C: 絶滅の危険性が高くなりつつある種)、ハマオモト (絶滅危惧種 B: 近い将来における絶滅の危険性が高い種)、ナガミノオニシバ (絶滅危惧種 A: 近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種) の 3 種があげられる。

ノカンゾウは、調査場所中央の堤防から海岸砂丘に下りる階段付近の 1 箇所で、3 株の生育が確認された。

ハマオモトは、調査場所東寄りの盛土地法面 2 箇所で、6 株の生育が確認された。

ナガミノオニシバは、波打ち際からやや盛り上がった海岸砂丘で広く確認された。本種は優占する群落を形成しており、その分布面積は約 6,660m²であった。

なお、ノカンゾウ及びハマオモトの両種は、大型草本で確認が容易な種であることから、今回の確認地点以外に生育している可能性は低いと考えられる。また、確認箇所数はノカンゾウ 1 箇所、ハマオモトは近接した 2 箇所であることから、長年にわたって安定生育している自生個体というより、栽培からの逸出個体、もしくは海からの漂着個体の可能性が高いと推察される。

ナガミノオニシバは小型草本で、群落を形成していないと見落とししやすい種である。海岸砂丘の低茎草地に広く生育している可能性は高いと考えられる。

ハマボウフウは海岸砂丘の西側で広く生育しており、コウボウムギ群落等で 390 株が確認された。

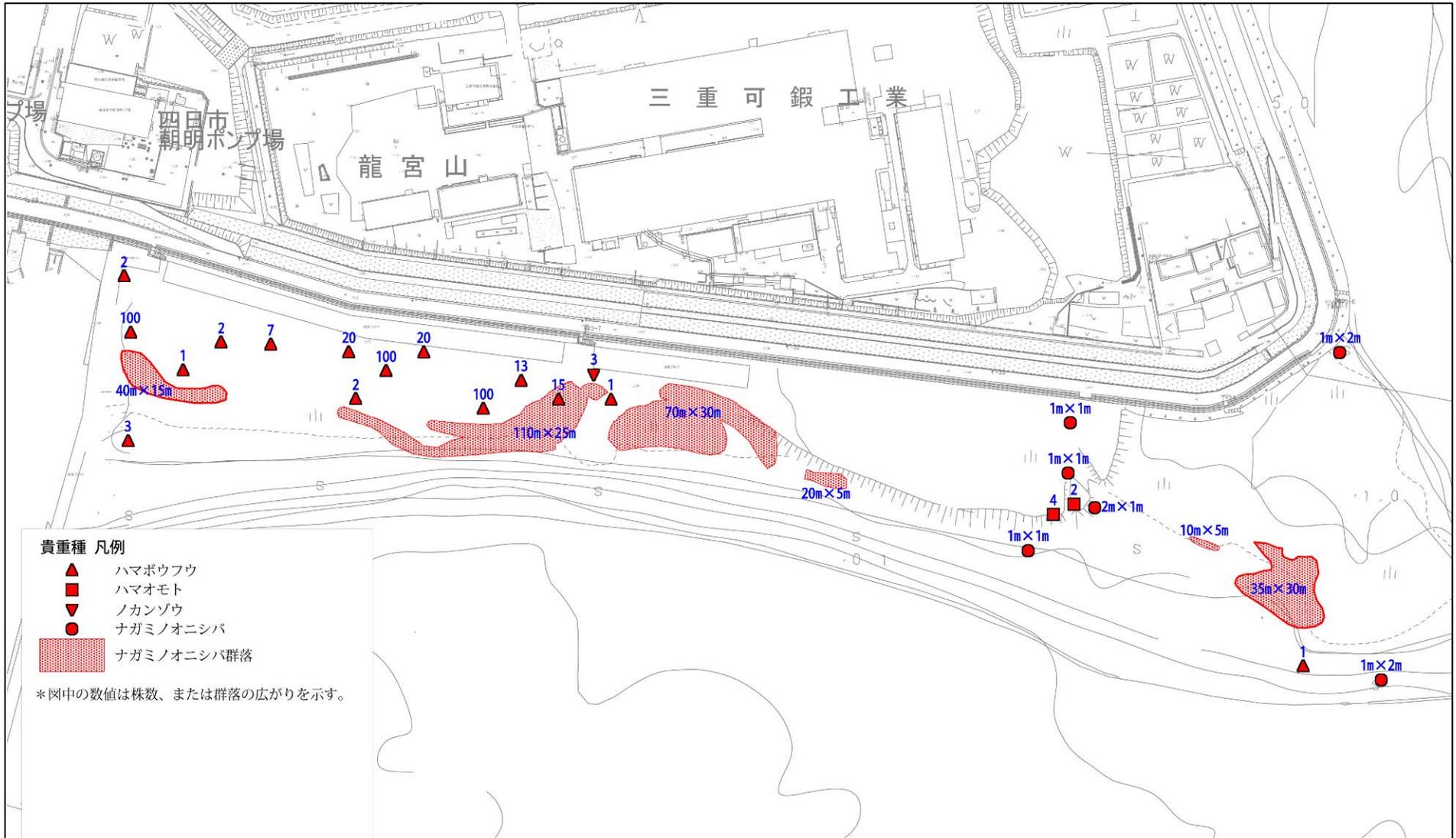


図 2-4-2 重要な種の確認位置図

(2) 特定外来生物

特定外来生物は、春季にアレチウリが1株、波打ち際で確認された。

確認個体は幼苗であったため、種子が漂着して発芽したものと推察される。

なお、春季に確認した個体は除去したが、今後、新たな個体が発芽・生長する可能性が考えられる。



特定外来生物アレチウリ



アレチウリの確認地点